

## 「羽陽学園短期大学 障害者支援に関するガイドライン」

令和2年1月30日 制定

令和4年12月22日 改定

### 1. 基本的な考え方

羽陽学園短期大学（以下「本学」という。）は、建学の精神及び障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律に則り、障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し共に学びあう大学として、障害のある学生（※1）支援の充実に努める。

※1. ここで「障害のある学生」とは、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、発達障害、及びこれらの障害に準じて教育上特別な配慮を必要とする学生をいう。

### 2. 支援方針

本学は、基本的な考え方及び以下の方針に従い、障害のある学生等からの支援要請により、当該学生との十分な話し合いを経た上で合理的配慮（※2）に基づく支援を行う。

※2. 「合理的配慮」とは、障害のある学生が、他の学生と平等に教育を受ける権利行使を確保するために行う必要かつ適当な変更及び調整である。障害のある学生に対し、その状況に応じて、本学において教育を受ける場合に個別に必要とされるものであり、かつ本学の体制面、財政面において、過度の負担とならないものをいう。

- (1) 入学前においては、原則として本人または高校からの事前の申請に基づき、障害の状態や程度に応じて支援内容を決定する。
- (2) 入学後においては、原則として本人からの申請に基づき、障害の状態や程度に応じて障害のない学生と同等の修学機会が得られるよう支援する。
- (3) 障害のある学生が安全かつ円滑に学生生活を送ることができるよう環境の整備の向上に努める。
- (4) 卒業後の進路については、適切な指導・支援を行う。
- (5) 学生及び教職員に対して障害の理解促進・意識啓発を行う。
- (6) 障害学生支援の基本方針及び体制等について情報を公開する。
- (7) 障害学生の個人情報には厳密に管理し、第三者に開示する必要がある場合は、必ず本人の同意を得ることとする。ただし、本学教職員が当該学生を支援するために必要な場合は、守秘義務を遵守してその情報を共有できるものとする。

### 3. 支援体制

- (1) 障害のある学生の受け入れと支援計画の策定

障害のある学生の受け入れに関しては、運営委員会が担当する。

障害のある学生の入試に関しては、学生募集要項にあらかじめ本学に相談するよう示し、必要に応じて当該学生の保護者及び在学学校と連絡しながら、入学前から進路の相談に応じる。特に、幼稚園教諭・保育士・介護福祉士の養成校として、実習が不可欠であることや卒業後は幼児や障害者あるいは高齢者を対象とする職業に就くという、本学の教育の特性について、丁寧に説明し理解を得た上で入試に臨んでもらうよう努めなければならない。

当該学生が本学に入学する予定が定まった時点で、運営委員会を中心として、入学から卒業・就職までを見通した支援体制を検討する。

## (2) 障害のある学生の修学支援

入学前から障害について相談のあった学生が入学した場合、または入学後に学生本人から学生課や担任その他の教職員に障害について申し出があった場合には、学生課のバックアップのもとで担任が相談相手となって、学生委員会、実習委員会、健康委員会及び就職指導委員会などと連携して修学を支援する。支援に当たっては当該学生の家族との連絡を密にするほか、必要に応じて、当該学生の主治医、本学の心理カウンセラーや学校医などに専門的な立場から助言を得て支援の方法を検討する。

障害の内容によっては、施設設備のバリアフリー化だけでなく、移動や授業中の支援スタッフの配置など人的支援についても、学生及び学外のヘルパーやボランティアなどを含めて検討する。特に学生の支援スタッフに関しては十分な研修を実施し、支援業務の内容によっては有償の学内ワークスタディとして経済的支援の方策も検討する。

支援について、担任など特定の教職員・学生に集中することのないよう、プライバシーに配慮しながらも、課題を共有し、研修会の開催や授業の実施方法を工夫するなど、全学的に協力することとする。

障害のある学生が在学中の修学支援については、担任と連携しながら学生委員会が中心となって関連する委員会やゼミ担当教員等との情報共有及び調整にあたる。

## (3) 障害のある学生の就職支援とアフターケア

本学では、従来から就職指導委員会と担任が連携して、一人ひとりの学生の進路の相談に応じて就職指導を行い、卒業後も基本的にすべての就職先を訪問して、卒業生を支援するとともに就職先にもアンケートを実施して状況を確認してきた。

障害のある学生に関しては、さらに個々の学生の状況に応じて、児童・老人福祉施設など実習でも関連のある事業所を紹介するなど、就職後の自立を促す支援を続けられるよう、担任及び就職指導委員会が連携して、就職先との連絡・調整にあたる。